

画像検査報告書

患者ID	[REDACTED]	患者氏名	[REDACTED]
生年月日	1948/12/10	年齢・性別	65才・女
依頼科	6B病棟 消化器内科	依頼医	[REDACTED]
報告日	2014/05/09	報告者	伊藤 誠, 堀川 よしみ

検査内容

2014/05/09 CT胸～骨盤・造 2014/05/09 読影依頼

所見・診断

前回単純CT (2014/5/7) を参照しました。

膵頭部に径6.5×5.5cm大の腫瘤を認めます(図1)。造影により膵実質とほぼ同等に不整に増強され、内部に不染域を含んでいます。右側及び背側において十二指腸への進展を認めますが、腹側の胃壁との間には脂肪織の介在を認めます。腹腔動脈幹及びSMAに急峻な狭窄像は認めません。

門脈本幹及び下大静脈に近接していますが、それらへの進展は明らかではありません。

膵周囲及び傍大動脈リンパ節の有意な腫大を認めます(図2・3)。骨盤内に腫大リンパ節は指摘できません。

肝内には両葉に低吸収腫瘤が多発しています。

胆嚢は軽度緊満し、肝内胆管及び総胆管の拡張を認めます。

脾腫が見られますが、脾静脈への進展は明らかではありません。

両腎に嚢胞を認めます。

腎cystが見られます。

両側副腎に明らかな腫瘤は認めません。

腹水貯留を認めます。

吸気不良です。

肺に粗大な結節は指摘できません。

縦隔及び鎖骨上窩リンパ節の腫大は認めません。

甲状腺右葉に小結節を認めます。

撮像範囲内の骨に腫瘤性病変は指摘できません。

【診断】

膵頭部癌(T3N1M1sus): 十二指腸(Vater乳頭部を含む)への直接浸潤及び多発肝転移あり。前者により胆管・膵管の閉塞が生じていると考えます。

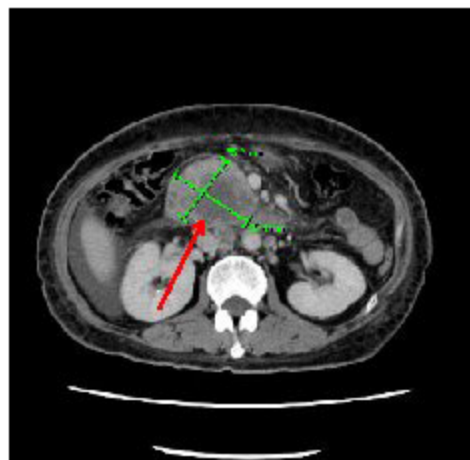


図: 001



図: 002

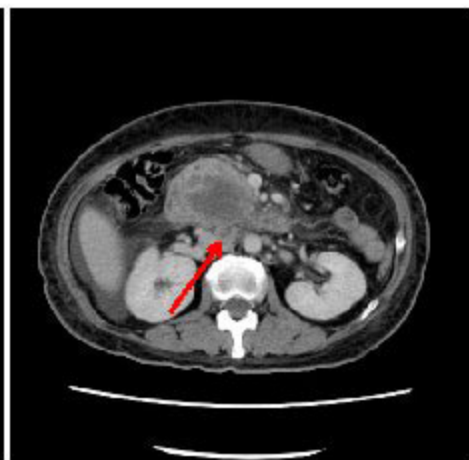


図: 003